



だより

〒444-0802 岡崎市美合町字並松1-2
Tel: 0564-51-1601 Fax: 0564-51-4831
E-mail: noudai@pref.aichi.lg.jp
ホームページ: <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/noudai/>



卒業式 各賞受賞者

CONTENTS

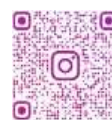
- 1 卒業特集
- 2 写真で綴る農大の1年
- 3 専攻トピックス
- 4 令和3年度卒業生の進路状況
- 5 トピックス
就職活動本格化～合同就職相談会・模擬面接会～
令和3年度 終業式
令和4年度入学生に向けて入学説明会開催
ヤンマー大賞で県庁あいさつ
ご勇退される堤校長に花束贈呈！！

SNS

愛知県立農業大学校
公式HP



Instagram



Twitter



令和3年度 愛知県立農業大学校 卒業特集

卒業に寄せて



校長 堤 公生

卒業おめでとうございます。

2年生のあなたたちが農大で過ごした2年間はまさにコロナ禍の真っ最中で、海外派遣研修、東海近畿ブロックスポーツ大会や発表会などの中止、クラブ活動の制限などで、辛抱することが多かったのですが、よく頑張ってくれました。

専攻実習で仲間と協力しながら作業を進める様子、実習販売で元気に自分が作った野菜、果物、米などをお客さんに売り込む姿、農大祭ではみんなで張り切って盛り上げてくれたことなど、あなたたちの生き生きとした姿、時にはふざけた姿(?)が数多く浮かんできます。また、寮を含めた学校生活で多くの友人を得ることができたと思います。一生の友として大切にしてください。

卒業後、あなたたちはそれぞれ新たな生活を始めます。この愛知農大での経験を糧にして、誠実に一所懸命努力し、素直に人の話を聴き、常に感謝の気持ちを忘れず、自分に関わる人たちに貢献することを心がけてください。社会に出て活躍されることを、大いに期待しています。

最後に、あなたたちと共に過ごした2年は、私にとっても楽しい時間でした。ありがとうございました。

農大の思い出



学生会 会長

鈴木 結子



私が学生会の活動で一番印象に残っているのは農大祭です。今年の農大祭は仕事が増え大変でしたが、無事に終えることができました。農大祭が終わった後に架かった虹の景色は今でも覚えています。学生会の活動は、大変だったけど良い経験になりました。社会に出てからこの経験が生きてほしいなと思います。



露地野菜専攻

川合 翔夢



アブラナ科野菜を中心に栽培を学びました。露地野菜専攻には、多くの農業機械や運搬車があり、1日に何台もエンジンオイルを交換した事など、機械と接する機会が多くあり、良い経験が出来ました。そのような縁からか、農機メーカーに就職することになりました。卒業後も、農大で得た知識や人脈、友人を大切に、頑張っていきたいと思っています。



施設野菜専攻

橋本 真優



農業大学校では、主にキュウリ栽培について学習しました。播種から片付けまで責任を持って管理し、より専門的な技術を学ぶことが出来ました。学校生活では学生会に参加し行事運営に携わったりして仲間と協力して頑張ってきました。また寮では、友達と交流し楽しく過ごせました。農業大学校で学んだ事を就職先でも活かして日々努力したいです。



切花専攻

鈴木 淳也



農大では最高の仲間達と出会うことができました。ここでの2年間は、新型コロナ感染症の拡大で学校行事が中止になったり、普段の生活に厳しい規制ができたりして、学校生活がつまらないと感じたこともありましたが、そんな中でも、楽しい思い出をたくさん作ることができたのは、愉快的な仲間達と一緒に居られたからだと思います。本当にありがとうございました。



鉢物・緑花木専攻

大久保 竣平



農大に入り、たくさんの仲間ができました。鉢物・緑花木専攻は、鉢花、観葉植物、洋ランおよび緑花木部門があり、個性豊かなメンバーがいて、いつもわいわい楽しく過ごせました。卒業後は千葉県の農園に就職しますが、農大での2年間学んだことを活かして一生懸命頑張りたいと思います。



作物専攻

保崎 美樹男



入学後、田植えや収穫、耕起、代掻きなどの水稲栽培や小麦栽培、大豆栽培の作業を一通り学ぶことができました。1年生の派遣実習では、農大とは規模の違う農業法人で実習を行い、現場での作業の大変さを痛感しました。2年生では、卒論のために一人一圃場の管理を任せられ、不安でしたが楽しく作業ができました。また、2年生の県外実習では北海道で大規模農業について学ぶことができました。



果樹専攻

小泉 慧介



コロナにより予定通りにはいかない2年間でしたが、頼もしい仲間達や先輩方のおかげでやりきることが出来ました。また、このような状況でもしっかり支えてくれた先生方には本当に感謝しています。農大での経験はこれからの人生にきっと役に立つと思います。2年間、本当にありがとうございました。



酪農専攻

中島 寛己



専攻実習や当番は大変でしたが、全員でわいわいしながらできて楽しかったです。1年生は人数も少なくさらに大変だと思いますが、次の1年生が作業を早く覚えられるよう頑張ってください。そして、僕たちができていなかったことや新しいことに挑戦して行って欲しいと思います。卒業後は農大で学んだことを活かし農業に取り組んでいきたいです。



養豚養鶏専攻 (養豚)

美浪 さくら



2年間で養豚に関する多くの経験ができました。困難に直面した時は、それぞれが違う考え・意見を持っていて話し合い、1つの答えを見つけ出し解決していく楽しさを知りました。1人1人の性格や得意分野を尊重し、高め合いながら過ごすことができたので、卒業後もこの経験を活かし頑張っていきたいです。



養豚養鶏専攻 (養鶏)

國 海己



養鶏専攻で学んだ2年間、特に後半は楽しい1年でした。なかでも皆と一緒に実習をやっているときに楽しく記憶に残っています。入学したときの仲間は半分2人に減ってしまいましたが逆に強くなったと思うので、後輩には、専攻内で仲良くし、いろいろなことにチャレンジしてもらえればと思います。



卒業おめでとうございませす

先生から卒業生へ

学 務

- 農大で学んだこと・経験したことを思い出して、がんばってください。(副校長 鷹羽靖夫)
- 農大での思い出、友人を大切に!新しい門出を心からお祝します。(教育部長 石橋良洋)
- 農大で学んだ2年間を礎に大きくはばたいてください。(丹羽隆展)
- 安心安全な食物、美しい花や植物を、これからも育ててください。(前野貴生)
- 新たなステージでの御活躍を心から願っております。(近藤靖之)
- 本校で培った経験とつながりを忘れないでください。社会に出ても笑顔で楽しく!(小椋瑞輝)
- 日本の将来を担う若いみなさん、柔軟な発想で新しい世を創ろう。(坂口卓司)
- 地域農業そして日本の農業を盛り上げていってください。(磯貝 勝)

花 き

- 誘惑に勝てば心は強くなり、負ければ心は豊かになります。人生、楽しんでください。(野田輝夫)
- 笑顔で元気に、それぞれの道を進んでください。(田中良子)
- これからも自分らしく、ご活躍を期待しています。(真野恭平)
- 社会人となっても、たまには農大時代を思い出してください。(米倉 悟)
- 何があっても楽しく生きてりゃそれで OK! いつまでも遊び心を忘れずに!(原 知明)
- 自分を大切にしながら、新たな道に進んでいってください。(鶴田瑞穂)

野 菜

- 農業もサラリーマンも健康第一。日々スポーツを楽しむことと健康診断を忘れずに。(水野英之)
- どの仕事も大変ですが、自ら進んで行動し、楽しき人生を送って下さいね。(鬼頭雅也)
- 農大での経験や仲間との繋がりを活かし、皆さんが活躍されることを期待しています!(牧 宏優)
- 社会に出ると農大での経験は良い思い出となる。チャンスをつかんで良い人生を!(吉田圭介)
- 農大でできた人との繋がりを大切に! 社会に疲れたら農大に顔を出してください。(小嶋博樹)
- 農大は君たちの母校。時々、顔を見せに来て。君たちのことは忘れない、認知症になるまでは。(関 博司)

作 物 果 樹

- 制約の多い2年間でしたが、それもいい思い出です。きっと。(落合敏弘)
- 仕事も勉強も研修も、フリでもいいから楽しみな。ホントになるよ。(長崎晋作)
- 2年間の農大生活で得た学び、繋がりは一生もの。自分らしさを失わずに歩いてください。(影山舞子)
- 楽しいこと苦しいことも含めていい思い出!! 農大の人間関係は一生大事にして下さい。(古川 恵)
- 困ったら仲間を頼ることも忘れずに。強く生きて下さい。(福岡真穂)

畜 産

- この先、分岐点で迷っても、各々の道で自分を花開かせる未来が待っています。(川上幸裕)
- 農大で得たスキルはこれからの人生にきっと役に立ちます。自信を持ってください。(岡村 隆)
- 2年間様々なことがあったと思います。この経験を未来へつなげていってください。(春日井大輝)
- いい仲間と出会うことができましたね。2年間の経験を活かして頑張ってください。(栗田隆之)
- 人生、健康が一番です。健康に留意し、頑張ってください。(大口秀司)
- 2年間の苦労は他に比べ難いものです。それを忘れずに先を見ず進んでください。(柳澤淳二)
- これからも楽しく笑顔で頑張ってください。また、元気な姿見せてね。(村田 結)

舎 監

- 朝7時30分の放送に始まり夜11時の寮消灯までの寮生活は、貴重な思い出となるでしょう。(辻 邦夫)
- 制約の多い寮生活。実社会はもっと厳しい。負けないで、農大生の誇りをもって頑張れ!(田口延行)
- 社会人としての物語が始まります。そこには農大の団体生活の経験が生きてきます。(宇野滋晃)



令和3年度卒業式を3月7日（月）に校内中央教育棟大講義室で挙行し、教育部農学科101名が本校を巣立って行きました。

愛知県は、新型コロナウイルス感染症のまん延防止等重点措置期間中であり、昨年に引き続き、時間短縮、来賓の縮小、換気、マスクの着用などの対策を行い式典を実施しました。また、式場への保護者の入場は御遠慮いただき、YouTubeによるライブ配信を行いました。

卒業生は2年間にわたる専攻実習や農家派遣実習、プロジェクト活動、体育祭、農大祭、学生寮での生活など、2年間の農大での生活の様々な思い出を胸に卒業式に臨んでいました。式典では、卒業生全員の名前を呼名し、堤校長から卒業生総代の橋本真優さんに、卒業証書が授与されました。

成績優秀者や実習等に精励した者に対して、愛知県知事賞や大学校長賞、全国団体などの表彰が行われ、17名の学生が受賞しました。その後、校長式辞に続いて、愛知県知事代理の金沢農業水産局技監と柴田同窓会長から御祝辞をいただきました。

続いて、在校生代表として、次期学生会副会長の果樹専攻の林陽向さんが卒業生へ感謝の気持ちを込めて



卒業証書授与 卒業生総代 橋本真優

送辞を述べました。

最後に卒業生を代表して、養豚・養鶏専攻の中村彩乃さんが答辞を行いました。2年間の思いがこもった心温まる答辞は、卒業生や職員、来賓の方々に感動を与えました。

卒業式終了後は、例年、学生会が主催する卒業パーティを開催していましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、卒業生・在校生が一同に会することができず、短い時間でしたが、専攻別に集まり、企画を実施したり、思い出を語り合ったりしました。卒業生には、農業大学校で学んだ知識や経験を活かし、新たな環境でも思いっきり活躍してほしいと思っています。

各賞 受賞者

優 秀 賞（愛知県知事賞）	
橋 本 真 優	（施設野菜）
優 秀 賞（大学校長賞）	
河 合 あ い ら	（施設野菜）
永 井 さ え	（露地野菜）
竹 内 規 人	（果 樹）
吉 村 颯 季	（果 樹）
精 励 賞（大学校長賞）	
大 久 保 竣 平	（鉢物・緑花木）
太 田 隼 也	（切 花）
清 水 陽 大	（作 物）
前 田 一 樹	（果 樹）
坂 上 竜 太 郎	（露地野菜）
中 西 駿	（施設野菜）
中 島 寛 己	（酪 農）
國 海 己	（養豚・養鶏）
特 別 賞（大学校長賞）	
中 村 彩 乃	（養豚・養鶏）
加 藤 大 季	（作 物）
全国農業大学校協議会長賞	
鈴 木 結 子	（切 花）
農業大学校同窓会全国連盟会長賞	
山 田 拓 実	（鉢物・緑花木）



優秀賞(大学校長賞) 河合あいら



全国農業大学校協議会長賞 鈴木結子



農業大学校同窓会全国連携会長賞 山田拓実



保護者の方は別室でYouTubeによるライブ視聴



送辞 在校生代表 林 陽向



答辞 卒業生代表 中村綾乃

答辞 (抜粋)

養豚養鶏専攻 中村綾乃

二年前の春、私たちは農業大学の門をくぐり本校へ入学しました。寮の生活は、新しい環境に楽しみを抱きながらも、どこか不安がありました。しかし、そんな不安を一瞬で拭い去るほど、和耕寮での生活は暖かく、たくさんの仲間のやさしさに触れ、この二年間は充実した日々を送ることができました。

養豚専攻では、私達の命は生き物の上に成り立っている事、そして人が生きていく上で必要な農業という仕事の素晴らしさなど、その他にもたくさんのことをこの生活で教わりました。このような経験ができたのも、農業大学の門をたたいたからだと感じました。

私の両親は今の私と同じ年齢で子を持つ親となり、私や妹たちを育ててくれました。あの頃の両親と同じ年になって改めて親の偉大さを感じます。お父さん、お母さん、本当にありがとうございます。

私達は、今日で農業大学校を卒業します。当たり前の様にみんなと顔を合わせた日々がもう来ないと思うと、空っぽになった舎室と同じ静けさを心感じてしまいました。ここでのたくさんの出会いと経験、様々な人からいただいた言葉を私の一部として、新しい生活へと踏み出します。

卒業生の人生が皆、これから先ずっと素敵な愛であふれますようお願いを込めて、お別れを告げます。



写真で綴る農大の一年



4月 入学式 校長式辞



4月 入学式 新入生宣誓



4月 始業式 職員紹介



6月 体育祭 ソフトボール



6月 体育祭 ドッジボール



6月 体育祭 バレーボール



6月 進路相談会



6月 進路説明会



7月 進路セミナー



7月 オープンキャンパス
全体説明



7月 オープンキャンパス
農場施設見学



7月 オープンキャンパス
学生との交流



9月 派遣実習開始式



10月 校外見学



11月 収穫感謝祭



11月 収穫感謝祭



11月 収穫感謝祭



11月 意見発表会



11月 意見発表会



12月 卒論発表会



12月 卒論発表会



12月 農大祭 農産物販売



12月 農大祭 農産物販売



12月 農大祭 コスプレヤー



1月 就職相談会



3月 卒業式 卒業証書授与



3月 卒業生

専攻トピックス

最近の各専攻で話題になったことや実習風景などをお届けします！

各専攻の様子は、農大のインスタグラム、ツイッターで情報発信しています。



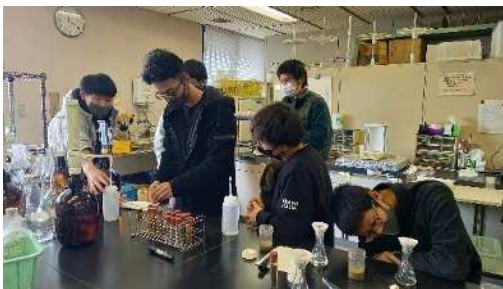
露地野菜専攻では春の特産として甘くて美味しいスイートコーンを栽培しています。まだ寒い日が多いため、ビニルでトンネルを作つて、その中でぬくぬくと育てます。3月にかなり日差しが強烈になってきていますので、最初から換気する穴が開いたビニルを使いトンネル内の温度が高くなりすぎないようにしています。ビニルトンネルの設置は、風があると煽られるため大変な作業で、専攻生を総動員して風で飛ばされないようにビニルをpushしながら設置しました。

春の特産
スイートコーンを定植



本年は、施設野菜専攻の学生プロジェクトとして、スイカのハウス栽培を行うため、穂木と台木を2月下旬に播種し、3月上旬に学生が接ぎ木を行いました。プロジェクトは、有機質資材、微生物資材がスイカの食味に与える影響について試験を行う計画です。計画どおりできると7月には食味の良い大玉スイカが収穫できます。水曜日の実習販売にも出す予定です。施設野菜専攻のスイカにも御期待下さい。

スイカの栽培を
開始しました！



農業総合試験場を訪問し、土壌分析について学習してもらいながら、農大の水田から採取した土壌の分析を実施しました。学生たちは細かい量の計量や慣れない機械の操作に戸惑っていましたが、次第にスムーズにできるようになりました。今後は測定した結果をもとに適正施肥量を算出するなど、プロジェクト活動に活用していきます。

次作に向けた
土壌分析を実施！



1年生から卒業生へ、創作LINEスタンプをプレゼント♪
3月7日農業大学校の卒業式で、果樹専攻の1年生が卒業生の先輩への贈り物として、ミニブーケの他、創作LINEスタンプをプレゼントしました。
1年生が作ったLINEスタンプは、先輩たちの写真と面白おかしいメッセージを組み合わせるなど、創意工夫が感じられ、1年生の頑張りが伝わってきました。卒業生からも大変好評でした♪

1年生から卒業生へ、
創作LINEスタンプを
プレゼント♪





卒業式の裏話

本校の卒業式の壇上を彩った大きな飾花は切花専攻1年生の作品です。

使われた花材はもちろん100%農大産。初めての大型作品ということで苦戦している様子も見られましたが、卒業生と一緒に育てた大切な花をふんだんに盛り込み、卒業生への感謝と応援の気持ちを表現できました。きつと、卒業生もこの花を見て、農大生活の思い出を噛みしめながら旅立ってくれたことでしょう。

卒業生の皆さん、お元気で！



鶴舞公園で花壇植栽

鉢物・緑花木専攻では、名古屋市の鶴舞公園のエントランスにある大きな花壇の植栽を

しました。植栽のデザインは1年生全員でコンペを行い、肉球のデザインに決定しました。このデザインを正確に再現するために、様々な品種や色の苗を丁寧に配置して植えこみました。大きな花壇に900株ほどの苗を植えるので重労働でしたが、出来上がった時の達成感や疲労感ほ心地よいものです。花壇の見ごろは、公園の桜が咲くころでしょうか。鶴舞公園にお出かけの際は花壇に注目していただけると嬉しいです。



ジャージー雌子牛が産まれました！

酪農専攻では、乳牛としてホルスタイン種とジャージー種

の2品種を飼育していますが、3月2日に雌のジャージー牛が産まれました。一般的に乳牛として知られているホルスタイン種は白黒模様ですが、ジャージー種は茶色です。ホルスタイン種に比べ小柄で、乳量は少ないながらも、乳脂肪分が高い生乳を生産できる特徴があります。生乳生産はまだ2年程度先ですが、それまで愛情をもって育てていきたいと思っています。



畜産総合センター新豚舎を見学しました

畜産総合センター新豚舎の見学会に県関係機関の職員

とともに1年生4名が参加しました。新豚舎は、人の出入り、エサや器具・機材の搬入、野生動物の侵入などによって病原体が豚舎内に侵入しないように工夫を凝らした設備があらゆる場所に施されており、学生たちは農業大学校にはない最新の設備に感心していました。



はるたまの販売が始まりました！

2月10日に開放成鶏舎に

移動した白玉・赤玉鶏が3月上旬から産卵が始まり、3月9日の実習販売から販売を開始しました。

名古屋コーチンも、3月下旬の実習販売から販売が始まっています。春休み期間中ですが、学生が頑張つて、バック詰めをしています。是非、お買い求めください。



令和3年度卒業生の進路状況

令和3年度の求人状況は、新型コロナウイルス感染症禍での採用状況の影響が心配されましたが、141件と、過去2年（令和元、2年度）に比べて増加しました。求人業種は、農畜産物生産・販売 55%（78件）、農業機械・資材 12%（18件）、流通市場 9%（12件）、農協 6%（9件）など過去3か年とほぼ同様の割合でした。

卒業生101名の進路決定率（3月10日時点）は99.0%で過去3か年（平成30年度から令和2年度）で最も高くなりました。

進路別の内訳は下図のとおりです。

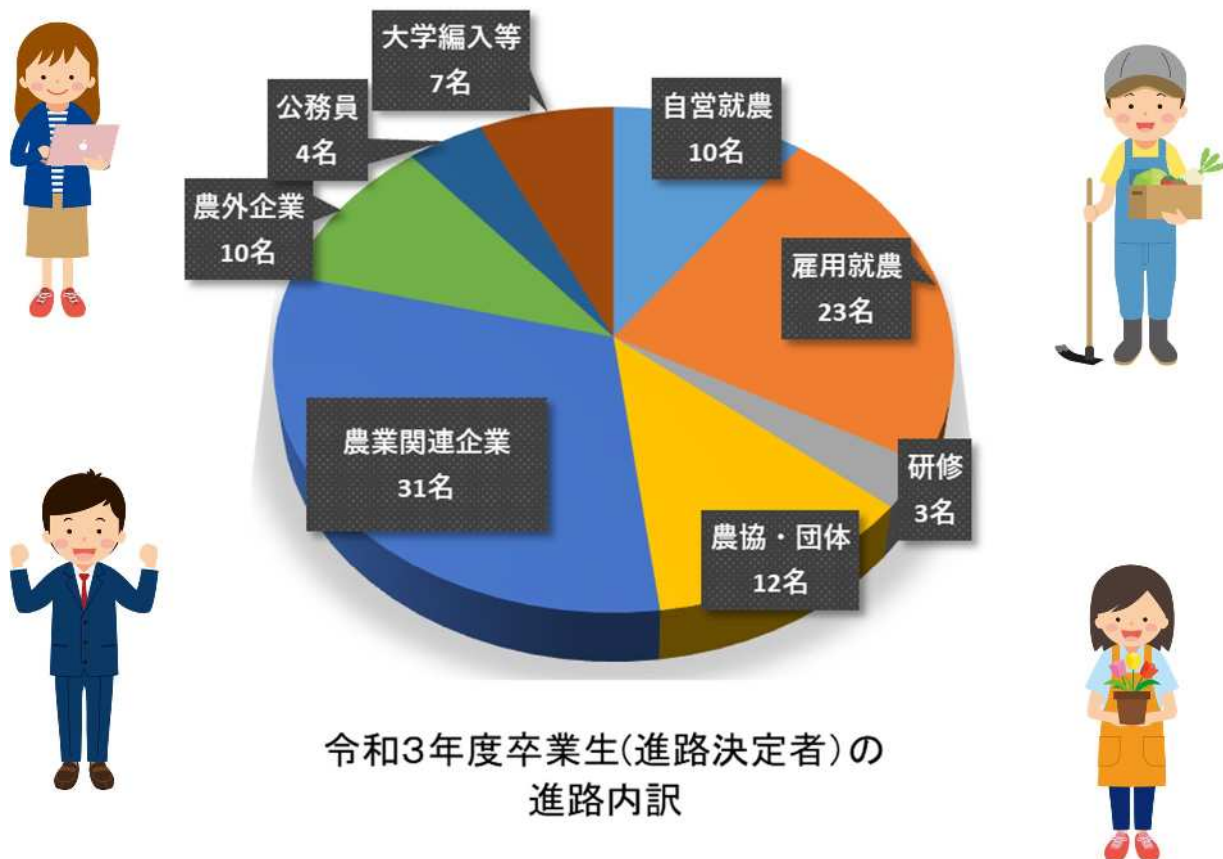
進路先別に見ると、即就農は33名（自営就農10名、雇用就農（農業法人等への就職）23名）、農業関連企業への就職が31名でした。

また、進学（4年制大学等への編入）が7名と過去3か年平均2名を大きく上回りました。農業高校の実習助手等公務員への就職も4名と高い割合でした。

このように卒業生の進路は多様化しており、本校では本年度より進学希望者への指導や民間就職支援会社との連携など、学生の希望に応じた就職活動等への支援を行ってきました。

即就農の他、将来就農を予定している卒業生で農業関連企業等への就職や研修、進学をする卒業生は50名となり、卒業生全体に占める割合は49.5%となっています。

令和5年4月採用に向けた就職活動は既に始まり、新年度早々には大学編入試験の出願も始まり、引き続き学生の多様な希望進路に合わせた支援を強化していきます。



トピックス

就職活動本格化～合同就職相談会・模擬面接会～

春に向けて本格的な就職活動の時期になりました。本校では毎年この時期に、1年生を対象に合同就職相談会や模擬面接会を実施しています。

合同就職相談会は、2月24日（木）、25日（金）、3月8日（火）の3日間実施し、農業関連の企業・団体47社（24日・25日37社、8日（畜産部門）10社）に参加いただきました。1年生全員が参加し、複数社からの話を聞けるよう3回に分けて校内の会議室・教室を会場に行いました。学生は担当者の方に質問など積極的に行っていました。一方で逆に質問されるなど学生も少し緊張気味でした。今回は、会社選択の重要な機会となるため、学生は真剣に担当者の話を聴いていました。

模擬面接会は3月14日（月）15日（火）に実施し、1年生9名が参加しました。面接指導は、教育部長と進路担当の3名で行いました。1人20分間の持ち時間で、身だしなみ、あいさつ、姿勢から、志望動機、自己PR、学生時代に力を入れていたこと、入社後にどんな仕事をしたいかなど、本番さながらの質問を行いました。面接後に1人1人講評し、その結果を全員がメモを取っていました。



各企業等担当者から
説明を聴く学生



模擬面接会の様子

令和3年度 終業式

3月15日（火）令和3年度の終業式を行いました。

堤校長から、「来年度76名の新1年生を迎えるにあたって、2年生として自覚と自信を持って1年生に手本を示してもらいたい。また、課題を持って取組むには人一倍の頑張りが必要であり、就職活動や学校行事に忙しくなる時期に何をしなければならないか考えて行動すること。そして、社会性や人間性を磨き、社会貢献できるよう研鑽をつんでもらいたい」と講話があり、学生にエールを送りました。



令和4年度入学生に向けて 入学説明会開催

3月22日（火）に令和4年度入学教育部農学科入学説明会を開催しました。本校の定員は100名ですが、受験者98名から選抜された合格者76名が入学予定となっています。石橋教育部長からは、「2年間は長いようで短く、農大で何を学ぶのか、卒業後に何をしたいのか、自身の進路を見据えて頑張ってもらいたい」とお話がありました。新入学生や保護者から農大での学びや共同生活に対して決意の表情が窺えました。



ヤンマー大賞で県庁あいさつ

養豚養鶏専攻2年生の中村彩乃さんが第32回ヤンマー学生懸賞論文で大賞を受賞したことを受け、3月14日に県庁を訪問し受賞報告をしました。

当日は、農業水産局幹部に中村さんが受賞した盾を披露するとともに、論文を作成するに至った動機、国内養豚業に対する真摯な想いを説明しました。

中根局長からは、「国産豚肉の良さを改めて認識できました。4月から養豚関係の仕事に就かれるとのこと、是非がんばってください。」と励ましの言葉をいただきました。



ご勇退される堤校長に学生から花束贈呈 !!

本年3月本校をご勇退される堤校長に学生会から感謝の花束贈呈がありました。

堤校長は、令和元年度副校長、令和2年度から2年間校長を務められました。新型コロナウイルス感染症禍の中、たいへん厳しい学校運営の時期でしたが、多くの学生から慕われてきました。

ほんとうにお疲れさまでした!!

